日本語学習ボランティア講座 通信③

平成 28(2016)年 10 月 11 日(火)10:00~12:00

３回目の開催です。今回のテーマは、『**「やさしい日本語」の達人になろう～外国人とのコミュニケーション～**』。
“易しい”とは、どういうことかを考える機会になりました。
「易しい日本語」は「伝わる日本語」。外国人、日本語学習者だけに役立つものではなく、誰にとってもやさしい言葉。
変換を考えることは、最初は難しいけれど、伝わると嬉しいですね♪
“必要な要素”を考えることを、習慣にしていきましょう。

「やさしい日本語」で話すことの意義

日本には色々な国の人が、訪れたり、暮らしている
→　全部の国の言語に対応することは、難しい!!　←阪神淡路大震災の時の気づき

でも

しばらく、日本を経験した人には、
「やさしい日本語」を使えば、80%くらいはわかる!!

やさしい日本語での会話は、良いコミュニケーションにつながるね♪

そして

わかる言葉があると、なんとなくわからない言葉が見えてきて、
“わかりたい”“知りたい”気持ちが生まれてくる☆

日本人にとって…、
“やさしい日本語”への変換を考えることは、**自分たちの言語を見直す機会に**☆
→“やさしい日本語”を使うことで、**誰にとっても言語環境がやさしくなる♪**

やさしい日本語の話し方のコツ６カ条

①難しい言葉を易しい言葉に言い換える

- **“漢語”を使いすぎない**　例)　授業の開始は１時に変更になりました　→　勉強がはじまります。１時に変わりました。
- **カタカナ語に注意**　カタカナ語は英語とイコールとは限らない。　短縮している場合も多い。
  例)「彼女スマートよね」→　この場合、“ほっそりとした”という意味で使っているが、英語の訳は“頭が切れる”となる
  ベビーカー→ミニチュアカーと思われる。
- **擬音語・擬態語は避ける**　→　わかるには、ある程度、日本に住んでいる等の経験が必要
- **敬語は難しい**　→　いつ日本へいらっしゃったんですか？　→　日本へいつ来ましたか？

②短文・単語で話す

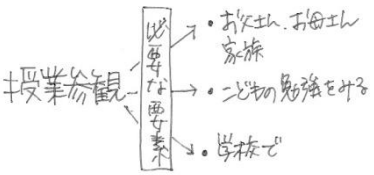
修飾せず、切って話す
説明しようと思わず、**"示す"**

③簡潔に話す(枝葉末節は刈り込む)
④なるべく“言いよどみ”の言葉をはさまない
⑤「です・ます」で話すほうがわかりやすい
⑥はっきり発音・スピードゆっくり目・区切って話す

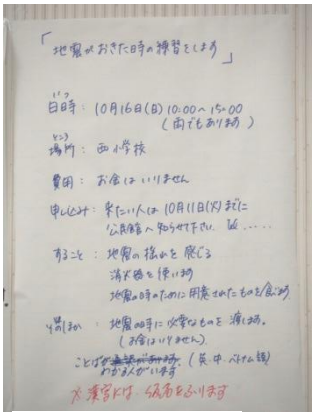
やってみよう①

逐次通訳ではないので、最低限通じることを考えてみよう☆

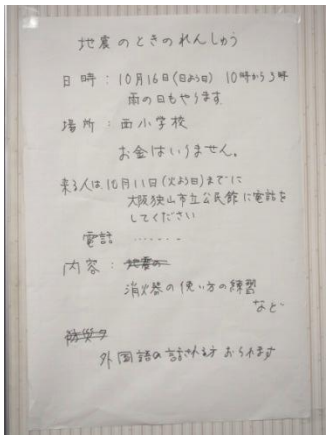
①漢語→和語
・警戒する→気をつけてください　・確認する→確かめてください
・和室→畳の部屋
②カタカナ語→和語
・ベジタリアン→　肉を食べない人
・キャンセル→やめる
※“取り消し”は、“取る・消す“の複合動詞なので難しい
③方言→標準語
・これ、いらんから、ほかしとって。
→これはつかいません。すててください。
④専門用語→普段使う言葉で
・来月は授業参観があります。→　**※必要な要素を考える**

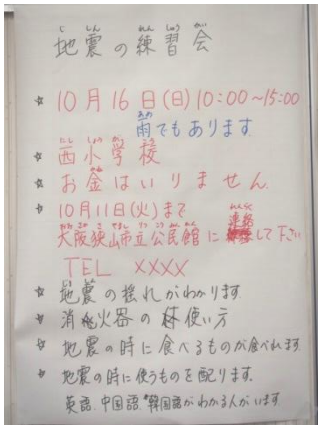


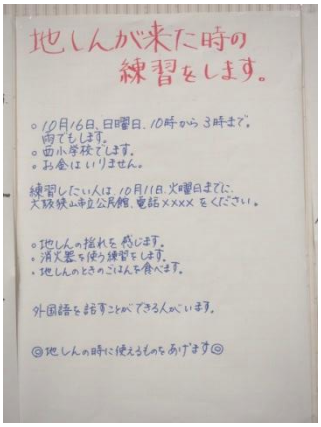
⑤具体例を挙げる
・粗大ごみは来週の金曜日です。
→　※「机やいす」など具体的に。
「大きいゴミ」では伝わらない　相対的な言葉は伝わりにくい
⑥簡潔に話す
・弘前市は断水や停電となり、市民の生活は麻痺しています。
→水はでません。電気は使えません。　→　刈り込み

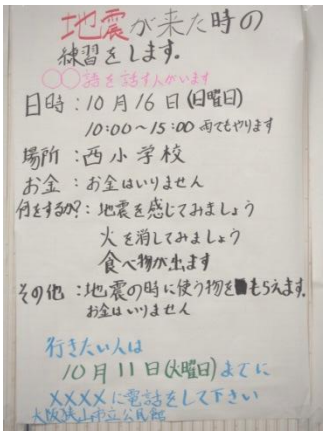

「地震がおきた時の練習をします」
日時：10月16日(日) 10:00～15:00 (雨でもあります)
場所：西小学校
費用：お金はいりません
申しこみ：来たい人は10月11日(火)までに公民館へ知らせて下さい。
有ること：地震の揺れを感じる
消火器を使います
地震の時のために用意されたものを食べます
持ものは：地震の時に必要なものを持ます。(お金はいりません)
ことばが通じない人がいます (英語、ポルトガル語)
※漢字には、ふりがなをふります

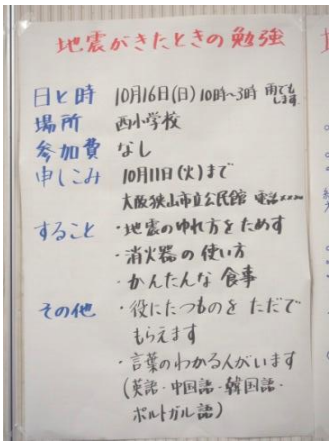
やってみよう②
防災訓練案内チラシ作り


地震のときのれんしゅう
日時：10月16日(日曜日) 10時から1時
雨の日もやります
場所：西小学校
お金はいりません。
来る人は10月11日(火曜日)までに大阪狭山市立公民館に電話をしてください
電話 ……
内容：消火器の使い方の練習 など
外国語の通訳があります









ちらしは、文字数を少なくしましょう　→文字が多いと読みたくなるなることも…

ちょっと手間をかけて、伝えようと考えることで、コミュニケーションが、うまくいく。

“通訳付き”　↓↓↓

『日本語がわからなくても大丈夫です』
と言う伝え方もあり。

第３回目(10 月 11 日)の参加者ふりかえり

・4 月から英会話を始めて、まさに学習者としての立場で聞きました。言いたいこと、言われたことが通じた時の喜びがよくわかります。
・こうして考えていくと、本当に日本語はむずかしいと痛感。
・やさしい日本語に訳す方法、学ばせていただきました。ありがとうございました。
・「やさしい日本語」のコツがよく分かりました。話し言葉をやさしくは気を付けていましたが、くずし字が分かりにくいことはあまり気にしませんでしたので、今後気をつけたいと思います。案内チラシを作るのも考えるきっかけになりよかったです。
・外国人とコミュニケーションする時やさしい日本語を使うことのむずかしさがよくわかりました。
・やさしい日本語よくわかりました。
・易しい、優しい日本語にする作業は中々難しいことです。でも最も大切な事です。
・これからは「やさしい日本語」を意識してみます。色んな表現ができたらと思います。物事を色んな角度から見ることが大切なのですね。
・なるべく言いよどみのことばをはなさないことが勉強になりました。
・外国の人が分かりやすい、やさしい日本語を考えるのは難しかったけど、勉強になった。たまには頭を使うのもいいなぁと思った。ポスター作りは楽しかった。
・わかり易く理解してもらう事を検討する事がむずかしいと思った。
・やさしい日本語ということで、外国人にわかり易く伝える為に日頃から簡単な単語を考えておかないとなかなか日本語が出てこないなと思いました。外国人向けのポスター作製は震災の時などに、とても役に立つと思います。
・「やさしい日本語」を使ってのちらし作りが難しかったけれど、良い勉強になりました。
・他国の人にわかりやすく伝えるのが、とても大変なことだと思いました。
・具体的によくわかりました。この調子で勉強できると本当に楽しいです。
・やさしい日本語に書き換えるのが難しかったです。日本では常識のことを外国人に伝える時のことばの変換の仕方に悩みました。もっと語彙を鍛えたいと思いました。
・よく見るチラシのフォームで適切だと思っていたものを「やさしい日本語」のチラシにする作業が難しかったです。
・ポスター作成を通じて日本語を外国の人にわかりやすく説明することの難しさを感じた。日本語は外国語のような厳格な構成を持たないので本当に難しいと思う。
・「やさしい日本語」って、相手のレベルにより、かわってくると思うと難しいです。また、自分自身の言葉をいいかえるのも、かんたんそうで難しいですね。
・講座の回数をかさねるにつれ、日本語の難しさを感じるようになりました。
・やさしい日本語にかえて、伝えることの難しさを実感しました。
・防災のポスター作りがとても楽しかったです。何げなく使う日本語をやさしい日本語に訳す作業は頭も使い、又、相手を思いやる気持ちも培われとっても勉強になりました。
・2 時間の講義内容があっという間に終わりました。日本語を教えるという時に、すぐ「みんなの日本語」などのテキストを使って、その通りに教えるというマニュアル化しがちです。「やさしい日本語」にかえるとか、一工夫すれば理解しやすいということを学びました。ありがとうございました。
・中学の英語で「Let me see…」を「う～ん」と訳すように習ったものですが、英語のそれと日本語のそれとでは、母語話者でない者の受けとめ方が違うのも納得である。ワークショップ楽しかったです。

『コミュニケーションを図りたい』『会話がしたい』そんな気持ちを持ちながら、そのためにできること、「やさしい日本語」への変換を試みることが、大切な気がしました。そして、そのためにも、自分のあたり前が、他の誰かにとってはあたり前でないかもしれないことを意識することも大切な気がしました。（担当 K）